

三角山採石跡地の在り方について（方針）

平成 30 年 3 月 19 日

札幌市建設局みどりの推進部

1 三角山採石跡地の「歴史を学ぶ場」・「植生を学ぶ場」、三角山の「地質を学ぶ場」として活用を図ることとし、そのために必要な取り組みを行う。

（趣旨）

・意見交換会等や専門家の評価において、採石跡地を教育の場として活用を図ることについては共通の意見であったことから、以下の3つについて学ぶ場として位置づけ、そのために必要な取り組みを市民と共に行う。

①過去に良質な石材を取るための採石事業が行われた歴史を学ぶ。

②一度破壊された自然環境は容易には回復しないことを知り、植生を学ぶ。

③山の内部が間近で観察できる貴重な場所であることから、三角山の成り立ちや地質を学ぶ。

2 植生回復の手法については、自然の遷移に任せることを基本とし、植生回復の推移を注意深く調査・観察する。

（趣旨）

・植生調査の結果、わずかずつではあるが植生が回復してきていること、また、意見交換会等で共有された認識であることから、植生の回復については自然の遷移に任せることを基本とする。

・専門家からモニタリング調査や土壌調査等の必要があると指摘されていることから、今後、市民と共に調査等を行っていく。